

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010364

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	元稲府地区水路改修事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	水路改修延長			#N/A		
事業目標	L=26m		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全体計画		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	事業	水路改修 コンクリート管(φ1000)L=26m			水路改修 コンクリート管(φ1000)L=26m	
	事業費(千円)	4,000	0	0	4,000	0
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実績事業費	事業費(千円)	3,888	0	0	3,888	0
実績事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ・水路改修 コンクリート管(φ1000)L=26m	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	L=26m	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	0%	0%	97%	97%
		全体達成率	0%	0%	97%	97%
		備考欄				

事業名	元稲府地区水路改修事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	山崎佳之
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	田原慎也

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	水路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	水路改修延長	
【抱える課題やニーズは】	既設柵渠の腐食に伴う土砂流出による水路の機能低下及び家屋への被害。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	水路の機能低下の防止及び家屋への被害防止。	① 水路改修延長/水路改修延長	目標年度	平成27年度
			目標値	26 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	水路の機能低下の未然防止及び家屋への被害の未然防止。	②	実績値	26 m
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	入札により、民間業者に工事を発注し、水路改修を実施した。	目標年度	平成27年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	水路の改修工事を実施することで、土砂流出による水路の機能低下及び家屋への被害を未然に防ぐことは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、水路の機能低下及び家屋への被害を未然に防ぐことができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	水路の機能低下及び家屋への被害を未然に防止したことは、事業費の抑制となり、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	水路の機能低下及び家屋への被害を未然に防止できたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
平成27年度事業終了		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止